

空襲被害者等の援護立法の実現を求める

全国空襲連

会報 No.4

2012・2・10

「空襲被害者等援護法」(仮称)の制定へ 100万署名と国会議員の賛同に全力 全国空襲連の取り組みと課題

東京大空襲訴訟控訴審が2011年11月28日に東京高裁で結審し、判決が2012年4月25日です。大阪空襲訴訟は、大阪地裁で2011年12月7日敗訴し、控訴しました。今後は裁判所に公正な判決へ運動するとともに、国会による法制化が重点活動になります。

全国空襲連は12月7日に役員会と運営委員会を開催し、「空襲被害者等援護法」「沖縄民間被害者に対する特別補償法」(法案要綱の仮称)の趣旨、目的、対象範囲の内容について大綱的に了解、1月以降の通常国会に上程し法案審議する扱いを確認しました。この法案要綱が私たち民間空襲被害者の要望を反映し、67年間の想いを晴らす法律にすることを全国空襲連の課題としました。

今後の取り組みは、法律を制定し、国の責任において空襲等による被害者及びその遺族に対する救済措置、被害の実態調査をおこなうために、国民の皆さまの理解と協力をえることです。そのためには、第1に100万名の署名の達成、第2は国会議員に法制定の賛同を要請し、超党派の議員から過半数以上、3分の2以上の賛同を得ることです。

全国空襲連事務局は、地方自治体へ法制定促進の要請をし、決議・意見書採択の運動を進めます。また、地方出身の国会議員、地方議員への要請と戦災都市・地域ブロックの活動拠点づくりに取組みます。

これらの取り組みのヤマ場は、3月10日から東京高裁の判決は4月25日です。

全国空襲連の課題は、空襲被害者以外の人も含め全国空襲連に加入していただく人をいかにのおおく増やすかにかかっています。現在は全国空襲連の加入は約350件の個人、団体に過ぎません。延べ会費、募金者は500件を越えていません。この現状を克服し、全国的な運動ができる財政の確立も大きな課題です。



全国空襲被害者連絡協議会 〒131-0045東京都墨田区押上1-33-4中村ビル102

TEL/FAX : 03-3616-3922

E-mail : tokyokusyu@coral.bforth.com

URL : <http://www.geocities.jp/jisedainitakusu/>

<http://www.zenkuren.com/index.html>

共同代表 : 早乙女勝元 中山武敏 荒井信一 前田哲男 斎藤貴男

連絡先 : 〒131-0045 東京都墨田区押上1-33-4 中村ビル102 TEL/FAX 03-5631-3922

年会費 : 個人1口 2,000円 団体1口 5,000円

郵便振替 : 00130-8-623364 (口座名: 全国空襲被害者連絡協議会)

幅広い国民的な共感と理解を求めて

第1回運営委員会決定の「運動方針」 2011・12・17

一、運動を取り巻く情勢から

1. 大阪空襲訴訟は原告敗訴。大阪地裁は国の賠償義務を否定しました。12月8日付の神戸新聞コラム「正平調」欄で「戦争中の犠牲は国民が等しく受忍しなければならないと、繰り返してきた。本当にそうだろうか。例えば旧軍人の戦傷病者」には補償が出るじゃないか。なぜ一般市民の犠牲との間に「線」を引くのか、そんな訴えが昨日、大阪地裁で退けられた。線は1ミリも動かなかった」と。

2. 判決で「国家の意思を実現するために戦地に赴いた軍人や、原爆被害者の特殊性を考えると、一般市民と不合理な差異があるとはいえない。」と指摘。憲法違反はないと判断しました。

3. 大阪地裁の法廷（2009・7・27）では、戦争で身体に傷害を受けた場合の軍人と、一般空襲被害者との補償を比較して訴えていました。

例えば、藤原まり子さんは、空襲で左足に大やけどを負い、中学2年のとき切断、義足。障害者としての等級は「3級」で年金なし。

在職12年以上の旧軍人が同じ傷害を負った場合、年間に424万700円が支払われています。これまでの累計だと1億4,936万円の差が生じています。また軍人・軍属へ昭和28年以降の恩給受給金額が50兆円をはるかに超え、一般空襲被害者はゼロという、この格差の大きさを「不合理」な差異とみない判決をどう考えるか。

4. 国家の意思を実現するための軍人だから、原爆被害者の被害に特殊性があるからと、一般空襲被害者と区別することに、一見、合理性があるように見られているが、はたして一人ひとりを人間として大切にすること、人権、人道の視点と、国家のために国民があるのではなく、国民のために国家があるという考え方からすれば、正しいことなのか、間違っていないのか。戦争を起こした国家意思の責任の取り方としてもこのままでよいのか。

5. 私たちは、過去の戦争への痛切な反省の上に立ち、平和で豊かな未来を目指す、九条を要とする国づくり、次世代に戦争だけは体験させたくない思いで運動をつづけます。

裁判で一進一退があろうとも、裁判の前進と空襲被害者等援護法（仮称）の制定へ全力をつくします。憲法に基づく戦後補償、処理へ、現行の制度を正します。

そのために国会要請100万署名、地方議会決議、国会議員賛同署名の目標達成の運動をす

る中で、幅広く国民的な共感と理解が私たちに寄せられるよう奮闘します。

二、「援護法」の制定へ

全国空襲連の総会で運動の基本目標と行動目標を確認しました。最大の運動課題である国家補償に基づく「空襲被害者等援護法」（仮称）の制定を求めて運動をします。

法律案要綱ができました。東京大空襲訴訟原告団と東京空襲犠牲者遺族会の役員クラスで1回のみですが討議し、大綱的には同要綱を確認しました。今後、さらに討議を深め、来年の通常国会に法律案として上程できるように、空襲犠牲者、国会議員、関係者等で意見交換を詰めていきます。上程できた段階では幅広い国民的な共感と理解から、支持の運動がひろがるように努力します。

1. 当面の具体的な行動目標

(一) 署名100万を2012年8月15日までに達成します。

(二) 地方自治体へ法制定促進の要請をし、決議・意見書採択の運動を進めます。

(三) 国会議員に法制定の賛同要請をし、超党派の議員から過半数以上、三分の二の賛同を得るようにします。

(四) 全国の戦災都市・市町村（200以上）、空襲と戦災を記録する会（100以上）、戦後補償・処理の運動団体および遺族会・原告団・全国空襲連名簿に基づき連絡をとり、全国空襲連の連携・行動のネットワーク化をはかります。

(五) 国会に法案上程段階で、法制定化促進に向けて、地元出身の国会議員、地方議員への要請と戦災都市・地域ブロックの活動拠点づくりを一体にとりくみ、法制定化の全国統一行動を展開します。東京では中央決起集会、国会と関係省庁要請を予定します。

2. 行動目標の具体化

(一) 2012年4月25日の判決を見据えた行動計画

(二) 2012年4月25日の判決を見据えた活動計画を取り組むなかで、行動目標別の具体案を提起しています。

<例>・署名100万達成の具体化

・地方自治体へ法制化促進決議・要請と、地域ブロック結成

・国会議員の賛同署名の具体化・国会対策立法化本部委員会

・全国空襲連の連携、行動ネットワーク具体化

・法制化実現へ全国統一行動の具体化

以上

全国空襲連運動連合チーフ会議 の開催と、当面の活動提起

昨年12月17日、全国空襲連運営委で決めた当面の方針を具体化するため、原告団と遺族会の三役と全国空襲連役員が集まり、3団体の今後の活動を統一的に円滑に推進するためチーフ会議を設置しました。この報告は、全国空襲連第1回運営委員会の報告と確認問題の中心点について意思統一するのが目的です。

全国空襲連結成以来、空襲被害者をひろく大きく結集するため、地域的プロジェクトを作ること努力してきました。すでに関東ブロックに続き「沖縄・民間戦争被害者の会」を結成し、九州では6つの県の遺族などが集まり「全国空襲連九州ブロック」を発足させるなど貴重な経験をつむことができました。引き続き東海、三多摩ブロックの結成へ、神奈川でも準備が進んでいます。4月25日に高裁判決日が決まり、国会では議員連盟が立法案の検討を詰める予定となり、裁判勝利と立法化促進の二つの活動を急速に推進しなければなりません。

全国署名運動推進への空襲被害者と支援者の総力を上げた取組みが求められています。とくに当面、運動の広がりをつくる土台の団体訪問活動の中で「全国空襲連」への加入団体の拡大に取組むことです。活動の提起は次の通りです。

「全国空襲連運動」の活動提起

〔1〕100万署名達成に向けて

- ① 署名の意義を多くの人たちに知ってもらう。
(注) 原告、遺族で平均21人の署名です。
- ② どこへ行くにも署名用紙を持ち歩き、訴えをする時間をとってもらう。
- ③ 一人が平均21人の署名を集めているので、今後集会参加の際にも署名用紙を持参する。
- ④ 一人ひとりの署名を集める数が広がれば広がるほど、数が21人より増えていくように勢いがつくので、その勢いを倍加、三倍化していく努力をする。
- ⑤ 団体へ組織的に要請する。

〔2〕地方自治体への法制化促進決議要請

- ① 運動の到達点を簡潔にまとめたリーフまたはパンフの作成をする。
弁護団の協力を得てリーフを2月中に完成する。行動参加者はこの文書を読み理解し、申入書と関係資料を持参して議員等を訪問する。

- ② 主要自治体県関係申し入れ活動
○神奈川(横浜) ○千葉(千葉市、銚子市)
○大阪府 ○愛知(名古屋) ○兵庫(神戸市)
の県知事宛に文書発送する。
各県の各会派名と役員の調査要請をする。
東京都議会は、すでに民主党に関係者の協力を得て提出、各会派名と団長と幹事長は調査済。区議会についても、墨田、江東、台東、中央、港などの調査要請をする。
- ③ 各区議会にも「支援する会」の協力を得て申し入れを行う。

〔3〕国会对策立法化本部委員会

- ① 2月13日の院内集会(議員に被害をよく知っていただく)準備、実行。
- ② 上記の準備を含めて議員事務所訪問と説得
- ③ 高裁前宣伝を強化①と②の終了後、4月25日に向けて3回程度行う。

〔4〕「全国空襲連の連携・行動ネットワーク」

- ① 目的=空襲被害70年(2016)までに要求実現(立法化による救済)を目指して。幅広い国民運動として進めます。中央・地方において運動を進める体制を。
- ② ネットワーク対象
 1. 全国の空襲と戦災を記録する会
 2. 戦後補償団体
 3. 全国の戦災都市自治体・地域団体
 4. 個人有志
- ③ 活動方法
 1. 第1に郵送、第2にTEL、第3に懇談打合せ
 2. 懇談会
 3. 全国空襲連加入または連携

〔5〕法制化実現へ全国統一行動(企画検討中)

(注)

国会院内集会の実施

「国会議員と空襲体験者との懇談会」(仮称)

日 時: 2月13日(月)15時30分

場 所: 衆議院第2議員会館第1会議室

お願い

- ・100万署名にご協力ください。
署名用紙は、ご要請次第お送りします。
- ・全国空襲連への個人加入、団体加入をぜひお願いします。加入申込書を送らせていただきます。

合 總

『東京』

より要綱素案を取りまとめ

「空襲被害者援護法」と

沖縄戦被害者援
944年の10・10
日本が正式に降伏
3月31日

為集團

九州交流集会 態勢作り進める

「軍人・軍属や遺族にはお力ネが支給されるのに、空襲被害者に補償がないのはなぜか」。太平洋戦争末期、空襲で負傷し障害が残ったり肉親を失ったりした空襲被害者について、そんな問題点が指摘された3日の交流集会。会場の久留米市役所ホールには、鹿児島を除く九州6県から約180人が駆けつけた。

地元を代表して活動報告したのは久留米市の中学教諭の男性。1945年8月11日、米軍機の空襲で200人以上が亡くなったとされる久留米空襲について、体験者から聴いた生々しい

証言内容を紹介した。

参加者は戦後生まれが大
半。66年前の空襲体験を風
化させまいとする関心の広
がりとうかがわれた。

しく受忍しなければならな
い」とする国の姿勢は、欧
州各国と比べて不当だと主
張。現在、超党派の議員連

大刀洗町の空襲を語り継ぐ活動をしている女性は、援護法制定の世論づくりについて「持ち帰って議論したい」と述べた。

集会の冒頭、「全国空襲被害者連絡協議会」共同代表と「空襲被害者等援護法案（仮称）」を準備中で、

表の中山武敏弁護士が講演した。「戦争被害は国民等

来年の通常国会への提案をめざしていると述べた。

来年の通常国会への提案をめざしていると述べた。

空襲被害者の援護立法について講演する中山武敏弁護士＝久留米市役所ホール

たことで「暗闇に一条の光を見いだした」と述べた。

協議会はこの日、関東ブロックに次ぐ二つ目の「九州ブロック」を発足。岩村さんを会長に、久留米市の市民グループなどが事務局を務め、態勢づくりを進める。

（遠山武）

全国空襲連の

主な活動

(2011/8/15 ~ 2012/2/10)

2011年 8/15	法案化実務討議（注）17日は1周年・ 総会開催
20～21	第41回空襲と戦災を記録する会に参加 （大牟田）
22	法案化議員打合せ
30	国会議員連盟第2回総会
9/13	衆議院初鹿先生パーティ参加
15	第3回関東ブロック会議
25	第7回「未来につなぐ証言」
27	被団協と懇談
29	国会要請行動協議

10/ 7	被団協と懇談
13	法案化実務協議
18	被団協55周年参加
20	第4回関東ブロック会議
23	第8回「未来につなぐ証言」
24	法案化実務討議
26	国会要請行動協議
11/ 3 ～ 5	九州ブロック組織化九州ブロック結成 総会
9	法案化実務討議
22	法案化弁護団協議
26	朗読会・学習（協賛）
27	第9回「未来につなぐ証言」
12月上旬	国会要請（全議員訪問）

空襲被害者等援護法の制定をせよ

8/16

しんぶん

被害者援護法制定を 全国空襲連が1周年の集い

全国空襲被害者連絡協議会（全国空襲連）は14日、東京都墨田区内で、結成1周年のつどいを開き、約290人が参加しました。名古屋空襲の被害者・杉山千佐子さん（全国空襲連名誉顧問）が開会あいさつ。戦時中、この会ができた。

(第3種郵便物認可)



援護法をつくらせるため国会に働きかけ続けてきた95年の生涯を振り返りつつ、「ケロイドや手足のけがなど、空襲被害者は、今も『地獄』が続いている。でも昨年、全国の被害者が立ち上がった。この会ができた。

全国空襲連の足立史郎事務局長は、昨年8月14日の結成以来、個人・団体会員数が約1・7倍となり、沖縄や九州、千葉などに拠点ができるなど、運動が大きく広がっていることを報告。「人間としての尊厳の回復と真の

民主国家の建設を」と、空襲被害者等援護法の制定、被害の全国調査、追悼碑建立と記念館設置を国に求めていくことをよびかけました。今年6月に設立された空襲被害者等援護法を実現する議員連盟の首藤信彦会長（民主）が、来年の通常国会提案へ向けて援護法案を準備中である、とのべました。

日本軍の性暴力告発

北京抗日記念館でパネル展

【北京＝小寺松雄】第2次大戦中に日本軍が中国女性に加えた性暴力犯罪のパネル展が14日、中国北京の抗日戦争記念館で始まり、同記念館と日本側の実行委員会の共催で、E11、約100枚のパネルが展示されています。同日の開幕式で実行委員会共同代表の池田恵理子さんは、この展示が被害者が最も多かった山西省で2009

沖縄戦救済へ
来年法案
に続
に書
にわ

東日本大震災救援募金 106万1,846円集約

ありがとうございました。178名余の個人・団体からいただきました。

全国空襲被害者連絡協議会（全国空襲連）は、公益社団法人日本ユネスコ協会を通じて震災遺児・孤児等への奨学金として特定することで送金します。

送金は、2月中に致します。

当初、日本赤十字社を通じてのご案内をしましたが、震災遺児・孤児などへの送金を考えて、いくつかの送金先を検討させていただきましたが、最終的に前記宛てに決めましたのでご了承ください。

12/ 1	新年度第1回関東ブロック会議
2	法案化実務討議
8	国会議員連盟第3回総会
10	法案要綱案「学習会」
12～15	第1回役員会・運営委員会開催準備
17	役員会・運営委員会
27	全国空襲連「連合チーフ会議」
2012年 1/10	都議会民主党折衝
12	弁護団会議、立法化協議
17	原告団・遺族会合同会議
1月下旬～ 2月中旬	100万名署名、加入運動要請議員会館事務所へ立法要請活動

空襲犠牲者等援護法（仮称）を実現する議員連盟

2012年1月末現在の役員、加盟議員の方を紹介します。

会 長	首 藤 信 彦 (衆・民主)		
副 会 長	赤 松 正 雄 (衆・公明)	柿 澤 未 途 (衆・みんな)	笠 井 亮 (衆・共産)
	服 部 良 一 (衆・社民)		
事務局 長	高 井 崇 (衆・民主)		
幹 事	相 原 久 美 子 (参・民主)	赤 嶺 政 賢 (衆・共産)	糸 数 慶 子 (参・無)
	木村たけつか (衆・民主)	斉 藤 勁 (衆・民主)	坂 口 直 人 (衆・民主)
	瑞 慶 覧 長 敏 (衆・民主)	高 橋 千 鶴 子 (衆・共産)	初 鹿 明 博 (衆・民主)
	平 山 泰 朗 (衆・民主)	福 島 瑞 穂 (参・社民)	山 内 徳 信 (参・社民)
加盟 議 員	石 毛 鎧 子 (衆・民主)	大 河 原 雅 子 (参・民主)	大 口 善 徳 (衆・公明)
	大 島 九 州 男 (参・民主)	川 田 龍 平 (参・みんな)	北 村 誠 吾 (衆・自民)
	工 藤 仁 美 (参・民主)	近 藤 昭 一 (衆・民主)	今 野 東 (参・民主)
	佐々木隆博 (衆・民主)	杉 本 か ず み (衆・民主)	重 野 安 正 (衆・社民)
	田 中 慶 秋 (衆・民主)	谷 博 之 (参・民主)	田 村 智 子 (参・共産)
	照 屋 寛 徳 (衆・社民)	中 屋 大 介 (衆・民主)	藤 谷 光 信 (参・民主)
	古 川 元 久 (衆・民主)	森 山 浩 行 (衆・民主)	吉 泉 秀 男 (衆・社民)

(敬称略)



現在、国会議員の方にはさらに多くの連盟参加あるいは趣旨に賛同をお願いしています。

全国の地域ブロックの活動

千葉・三多摩・九州・沖縄

全国空襲連の地域・ブロックは、関東ブロックが準備会を経て、横浜・千葉・三多摩と東京の会員を中心に署名活動のスタートを切っています。地域ブロックの独自活動を紹介します。

〔千葉〕新たに証言者の聞き取り訪問署名

千葉市空襲を語る会は2009年に証言者記録を発刊して以来、新たな証言者の聞き取りをしています。その他に7・7千葉空襲記念の集い2011、空襲犠牲者名簿作成運動と全国空襲連の活動参加を継続しています。会として「ちば戦争体験を伝える会」と協力し、拡大世話人会を月1回開催しています。

署名については、県内の各政党、民主団体を訪問し協力を求めています。10月には銚子空襲と交流します。今、語る会のホームページを製作中です。全国の方と交流し記憶と補償の運動を強めていきたいと考えています（伊藤記）。

〔三多摩〕11・20三多摩平和交流会で大成功

昨年11月20日に戦争を記憶し、三多摩から平和な

未来を考えよう！リレートーク・シンポジウム、展示と語りを開催し、300人の参加で大成功でした。現在、交流会を契機に組織的な発展への活動と100万の署名に取り組んでいます。

〔九州〕11月3日九州ブロックを結成

福岡県久留米市で、九州6県の被害者団体などから約180名が参加。九州ブロックを組織し、次の役員を決めました。会長・岩村秀雄、副会長・木下隆一、事務局長・中山信一、次長・福田緑、運営委員・首藤茂、平川硬一、萩原裕房、西岡芳之、会計・平川泰（以上敬称略）。中央の動きに対応し活動に入ります。

〔沖縄〕提訴と法制定へ世論喚起

民間戦争被害者の会は、10月に沖縄戦禍で国を提訴することを決め、原告団100人超えを目標と、援護法成立へ世論喚起に入っています。

緊急報告 東海ブロック結成へ準備中

全国空襲連役員の岩崎建彌さんを中心にして、3月25日を目途に東海ブロック結成準備がされています。

空襲被害者等援護法案(仮称)の解説

(注) 沖縄については「沖縄民間戦争被害者に
対する特別補償法(仮称)の名称

一、法案として考えていること(議員と法案策定中)

1. 被害の範囲(この範囲は、世界共通)
 - (一) 生命被害(遺族)
 - (二) 身体被害
 - (三) 戦争孤児加算
2. どのような行為が原因か
 - (一) 空襲、艦砲射撃、これに類似するもの
 - (二) 沖縄戦 → 特別措置法(戦争マラリヤ、地上戦で「戦傷病者戦没者遺族援護法」適用外)
3. 時期と地域範囲

(一) 時期 - 昭和16年12月8日から昭和20年8月15日までの間に行われた本邦(公海上の日本船舶も含む)における航空機に射撃、艦砲からの砲撃、魚雷の発射は、機雷の敷設その他の戦闘行為として政令で定めるものをいう(空襲等とは)。

(注)「沖縄における戦時行為等」とは、アエの定義あり。

(二) 地域範囲 - 現在の日本本土

二、提案(国会)

国会に通常国会中(2012年1月～6月)に議案を上程に向けて、民主、公明、共産、みんな、社民、自民党にも働きかけをしている。

三、私たちが訴えるポイント

1. 天災でさえ、死者、障害者、更には財産損害に対する支援までであるのに、国家の犠牲である戦争被害者になぜないのか。
2. 今こそ、一人ひとりを大切にする日本を築く為に空襲被害者援護法を。
3. 世界から見た日本の戦後処理の問題点
 - (一) 一般戦災者の切り捨て → 受忍論
 - (二) 戦前の価値(国家思想)に基づく処理と、力の強い者(軍人軍属、在外資産)には援護
 - (三) 世界の戦後処理は、国民平等主義と内外人平等主義
4. 私たち民間の被災者が分断されないようにする。
たとえば、一般戦災者と被爆者、沖縄戦の被災者との相異を踏まえながら、共闘して人間を大切にする戦後処理をしよう。私たちが生きているうちに!!

四、法制化要請へ

1. 署名100万人の達成と一体に、全国空襲連に空襲被害者以外の人も多数加入されることが大きな力になる。
2. 国会議員連盟への加入を超党派でさらに大きくする。
3. 全国空襲戦災都市で全国空襲連の拠点をせめて7箇所設置、立法化へ地方議会決議・意見書採択運動を盛り上げる。
4. 国会議員の立法化賛同署名をとる。
5. 大阪高裁、東京高裁の勝訴、最高裁で司法権発揮。(内藤弁護士発言から、文責事務局)

軍需工場で体験した爆撃空襲の
恐ろしさを証言する古内竹二郎さん



未来につなぐ証言

連続公開フォーラム

第4回

至近距離に落ちた1トン爆弾

講師・古内竹二郎さん

都市空襲の恐ろしさをともに考えようと第4回連続フォーラム「未来につなぐ証言」が昨年1月23日、中島飛行機爆撃空襲の体験者、古内竹二郎さん＝東京都西東京市＝を講師に招き「軍需工場への爆撃空襲の日々」と題し、都内の大学研修施設で行われた。

古内さんは海軍のゼロ戦をはじめとするエンジンを製造していた同飛行機武蔵製作所に勤務し、米爆撃機B29の初空襲のあった1944年11月24日当時、17歳の旋盤工だった。工場はB29の爆撃第一目標とされ、それだけに連続爆撃は執拗だった。

「工場では勤労学徒動員や徴用の人たちを含め約5万人が働き、空襲は敗戦の年の8月まで9回ありました。防空壕に退避しても安全とはいえず、防空壕に直撃弾が落ち、動員学徒が犠牲になることもありました」

工場には憲兵や監督官が配置され、自分の持ち場以外の工場に入ろうとすると、憲兵らに制止され怒られたという。銃後の工場はさながら「もう一つの戦場」のようだった。

「一番怖かったのは1945年4月12日の空襲で、この頃にはもう空襲慣れし、高をくくっていたら、聞いたこともないような爆弾音がして、防空壕に飛び込んだ直後に、ズシーンという音とともに壕は崩れ、僕は半分生き埋めとなり、命拾いをしました」

1トン爆弾の破壊力だった。爆弾は古内さんの壕から50メートル足らずの民家を直撃。家は吹っ飛び、家族5人の命を奪った。現場には深さ10メートル以上の穴が開いたという。生死を分けた爆撃空襲の恐ろしさを古内さんは語った。

「しかし爆撃空襲は中島飛行機の工場だけではありませんでした。私の現在住む西東京市でも十数回の空襲を受けています。この調査、記録に、いま取り組んでいます。戦争の愚かさを戦争の知らない世代に伝えてゆかねばならない戦争体験者でありたいです」

かつて皇国少年だった古内さん。いまの若い世代にそんな轍(てつ)を踏ませたくない。最後の言葉にはそういう思いがにじみ出ているようだった。

(文責・都市空襲研究会)

全国空襲連の会費・募金者ご氏名一覧

ご協力ありがとうございました。この一覧は前号以降12月15日までの間に納入された方々です。ご氏名公表の「否」を希望された方は掲載していません。募金などで複数回の方もおられます。誤記・記載漏れがございましたら、申し訳ございませんがお知らせ下さい。

6/30	石川雅一	7/26	高蝶敏子	7/29	社民党東京連	8/3	鎌田久蔵	8/18	橘 幸英
7/20	井上常一		山本キエ		剣持千賀子		青柳一清		岩崎貞明
7/21	河野 先		斉藤花子		中山 功		平松悦子	8/19	作田 一
	清岡美知子		足立智恵子		山本隆造	8/4	山高悦子		浦野美保子
	山本芳子		江澤千代子		栗栖香苗	8/5	千葉道子		石川逸子
	小沢ミキ		古川千賀子		小川政亮		伊藤ヨシ子		藤岡一三
	中野喜義		水谷信義		大島澄子		宮田勇作		小宮毅士
	平田健二		堀切正二郎		田中楽子		相原 宏	8/22	小林初子
7/22	竹内 努		窪田清子		三浦美智子		高橋明子		岡田 巖
	豊村美恵子		小池 實		浦野美保子		秦 康博	8/23	菊池 博
	田村 ア		山岸伸郎		名生智子		藤井俊之		門田耕作
	田村ゆき		高松 薫		浅見洋子	8/8	小林 実		小島 晋
	正田トシ子		辻野喬雄		東友会		古川千賀子	8/24	松本安夫
	関口力弥		池田香代子		村田未知子		川和啓二	8/25	田中和宏
	高橋雅博		五味 洋		棚村靖子		石山久男		太田重子
	眞田恒子		森 美枝子		土居和江		赤澤史朗	8/26	佐藤龍市
	稲葉喜久子		草間芳江		高橋喜美子	8/9	高森美保		岩井孝吉
7/24	鈴木 隆		鈴木敏雄		谷津志津		木村朝子	8/29	木津正男
7/25	石川徳信	7/27	川島博久	7/30	三宮克己	8/10	山口巧子		広瀬 等
	大田善太		林 幸二	8/1	前田和夫		越後政春	8/30	広川健司
	川島マス		宮島保男		水野英子		岩村秀雄		荒井洋子
	植木昭三		藤城毅光		銭谷美代子		山之内貞子	9/1	神谷成吉郎
	針ヶ谷昌次		神尾康治		銭谷黎子	8/11	広瀬英治	9/2	小池仁子
	伊東文矢郎		蒲生真沙雄		松島 進	8/12	大垣有司		中村志げ
	大熊保寿		木下雅夫		浜野恵男		渡辺重子	9/5	千葉田鶴子
	二味正雄		村瀬与志次		荒井信一		浅井 清	9/6	望 / 牛女子
	山田信 ャ		内田道子		渡辺美智子	8/15	菅野清助		西沢俊次
	井野里美		榊田久代		岡田孝一		高 / 昭		平賀明夫
	青山富美子		岡村正弘		中島タマエ		斉藤花子		山口悦代
	磯田育男		磯浦康二		佐藤 進		伊藤親俊	9/7	富山稔子
	斉藤邦夫		松田エイ子		多田はつ江		牛木理一		井尻勇蔵
	宮入恵次郎		星野 弘		加藤哲弥		高木出子	9/9	森 正幸
	設楽利夫		星野雅子		中島邦雄		松浦利貞	9/13	小木 宏
	古家幾久江		小島宗治		千葉眞佐枝		中島亨子	9/14	前田準美子
	数見久彌		加藤勝年		酒井博子		芦田恵袈雄	9/16	服部勝子
	佐々木俊美		城森 満	8/2	落合英夫		芦田千恵子	9/26	鈴木秀三郎
	渡辺 明		梨本雅光		千葉よし子		佐々木二三男		高橋ヒロシ
	関 幸子		棕野輝夫		吉田智博		水野政子	9/30	市川まり子
	井上知万子		米倉妙子		川戸重乃		清水雅彦	10/2	谷川紀子
	小林重信		今嶋巴津子		大国晃子		河野達男	10/6	浅野俊夫
	青木哲夫		永田郁子		大柳のり子		貝之瀬忠男	10/12	武永信子
	中島俊子		元木キサ子		青野こと		岩崎テル子		磯部元樹
	朝倉邦夫		高木敏子		佐藤正雄	8/16	渡辺保雄		藤原まり子
	菅野幸枝		後藤みき		南 政二		鈴木敏雄		吉富達彦
	推朱孝治		家島昌志		宮崎和加子		浜野絹子	10/17	澤田 猛
	長谷好男		望 / 謙一郎		新社会党本部		高松 薫	11/10	佐野英夫
	山岸佐津子	7/28	吉田由美子		齋藤 勉		斉藤昭一	11/22	鳥羽咲邦
	木村栄材		黒田豊子		横川定司		山崎昌邦	11/28	井形敏子
	三宅駿一		坂口徳雄		西澤和子		藤田好宏	12/1	高橋英人
	梶 慶一郎		諸星廣夫	8/3	小林喜巳子		鈴木信夫	12/12	岩倉博・道子
	五十嵐 仁		川杉元延		八木恵美子	8/18	安部正司		田中章三
	石川弘一		川瀬喜重子		松尾 弘		佐藤明夫	12/15	足立史郎
7/26	今井比子	7/29	長津功三良		谷川 透		小林誠一		石川徳信